

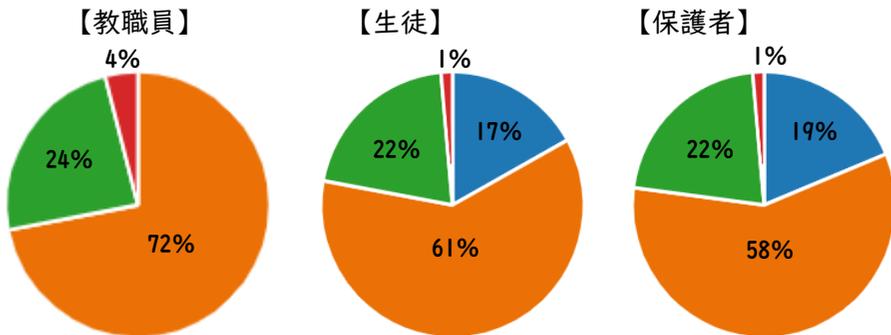
令和4年度 学校評価報告書

都農町立都農中学校

重点目標(1)「自律」に関すること

● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、自分で考え判断し、責任をもった行動ができる。



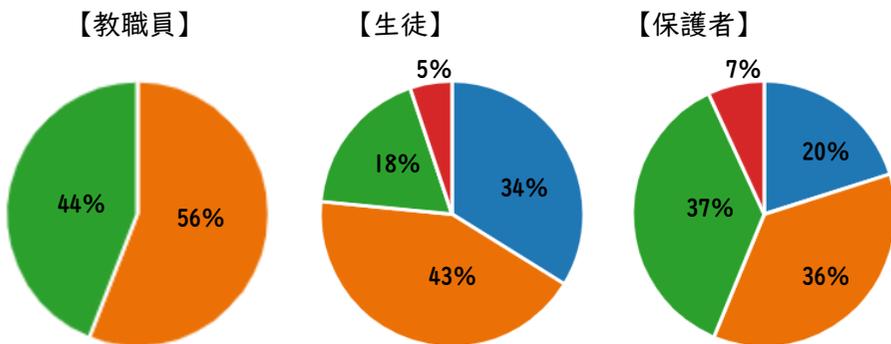
(考察)

生徒・保護者は、肯定的な回答が75%、教職員も、肯定的な回答が72%を超えており、概ね良好と考える。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・自分の考えて、判断する年齢になったと思われる。
- ・三者とも、7割近くが「責任をもった行動ができる」との結果なので安心した。

2. 生徒は、夢や目標をもって学習に取り組んでいる。



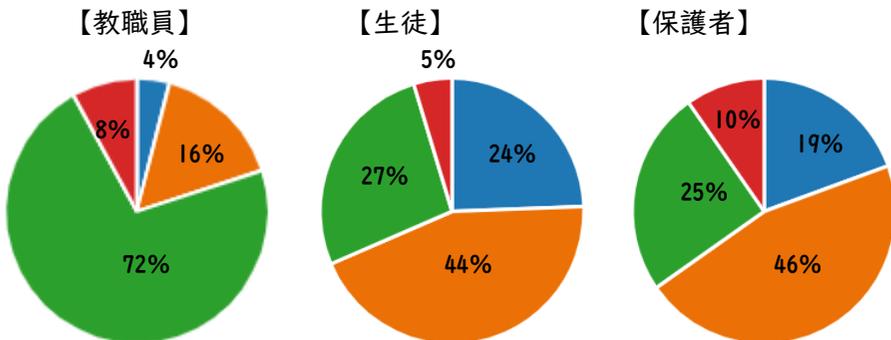
(考察)

生徒は、肯定的な回答が77%を占めるが、教職員・保護者は56%である。両者の差は、学習に対する努力の部分ではないかと考えられる。また、日本財団が2019年に実施した「18歳意識調査」と比較すると肯定的な回答が60%に対し、本校生徒は77%とさらに高いことが分かる。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・まだ、自分の将来について目標が定まっていないように伺える。
- ・生徒の34%には嬉しく感じた。
- ・目標を持って努力しようとする姿が見られる事が増えてきたと思う。

3. 生徒は、単元テストや定期テストに計画的に取り組んでいる。



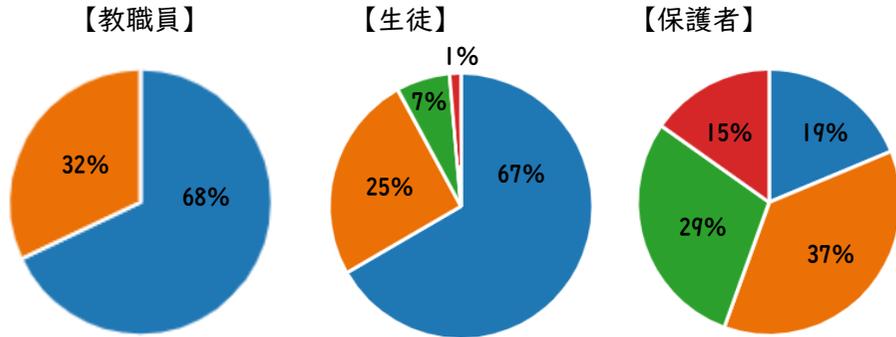
(考察)

生徒・保護者は、肯定的な回答が65%を越えているが、教職員は、肯定的な回答が20%である。また令和3年度では、生徒の72%が、保護者が69%肯定的な回答であったが、今年度は若干減少している。この差には、テストに対する学習時間やその結果について教職員の方が厳しくとらえていると考えられる。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・テストについては、生徒と先生方との開きが気になる。
- ・単元テストは短いスパンで評価する為、成績向上につながっていると思う。

4. 都農中の合言葉「自律」を知っている。



(考察)

教職員は100%、生徒は92%で浸透しているが、保護者は56%の認知度である。

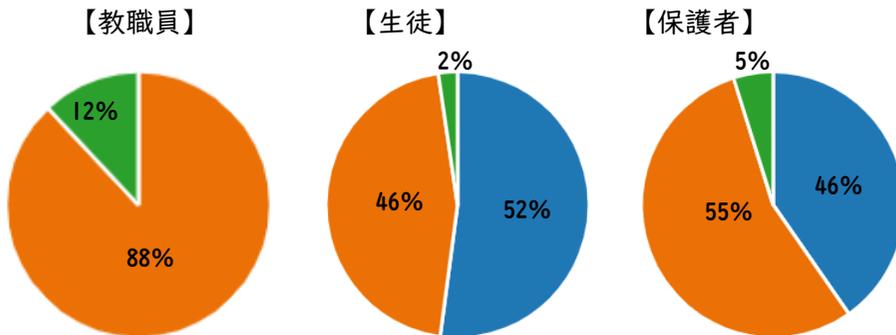
(学校運営協議会委員のコメント)

- ・自律についての合言葉を、先生方が日頃より生徒に周知されているのが分かる。
- ・生徒自身も92%と高い。

重点目標(2)「尊重」に関すること

● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、相手の気持ちや考えを大切にすることができる。



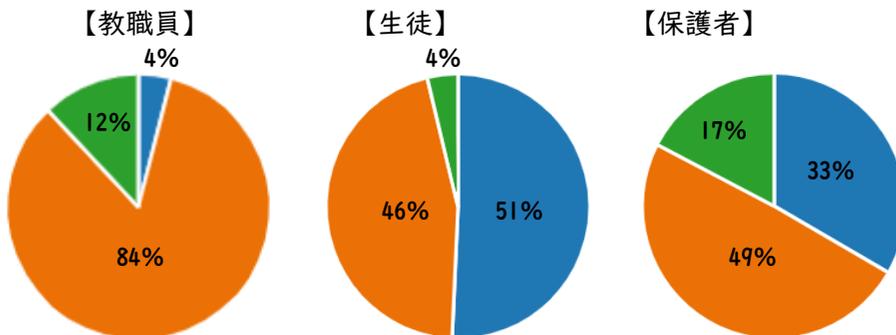
(考察)

生徒・保護者は、肯定的な回答が90%以上を越えている。教職員も80%が肯定的な回答である。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・相手の思いを大切に考えて行動ができると伺えられる。

2. 生徒は、自分と異なる考え方や価値観を認め、対話し受け入れることができる。



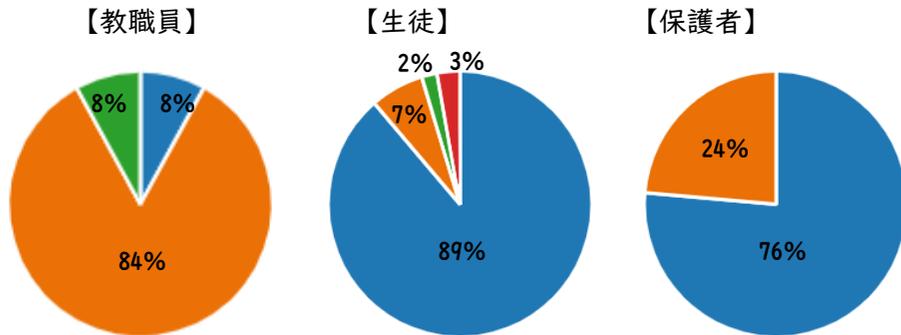
(考察)

ほとんどの教職員96%・生徒98%は、多様な価値観を許容することが大切と考えているが、17%近くの保護者が「どちらかというと思わない」と考えている。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・異なる他人の考えを受け入れ、価値観を認め対話ができることは素晴らしい。

3. 生徒は、「いじめ」はどんな理由があってもいけないことだと思っている。



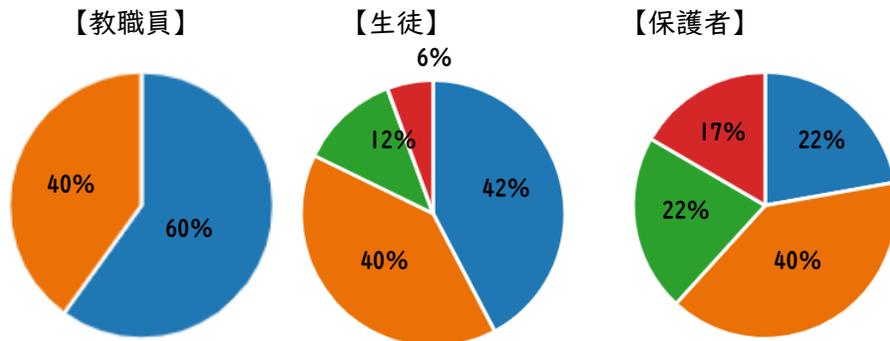
(考察)

生徒がいじめはどんな理由があっても許されない考えの割合は、95%で、5%の生徒はそのような認識ではない。教職員も8%が否定的な回答である。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・「いじめ」について生徒がいけないことだと自覚していて、先生方も認めておられるのが伺える。
- ・生徒のごく少数意見ですが、5%が気になる。

4. 都農中の合言葉「尊重」を知っている。



(考察)

教職員は100%、生徒は82%であるが、保護者は62%の認知度である。

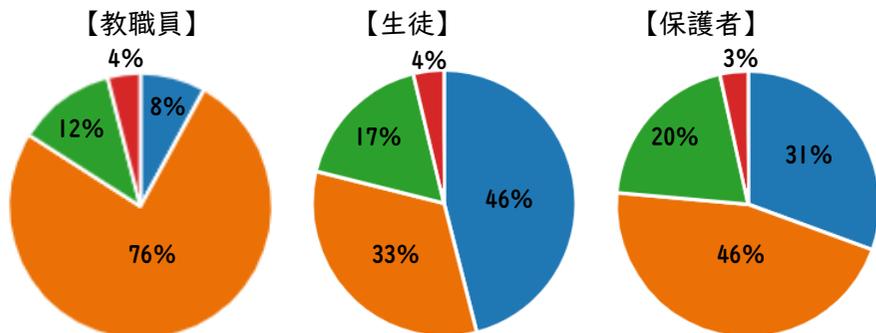
(学校運営協議会委員のコメント)

- ・尊重も自律と同様に周知が行き届いている。

重点目標(3)「体力」・「健康管理」・「防災」に関すること

● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、体力向上に努めている。



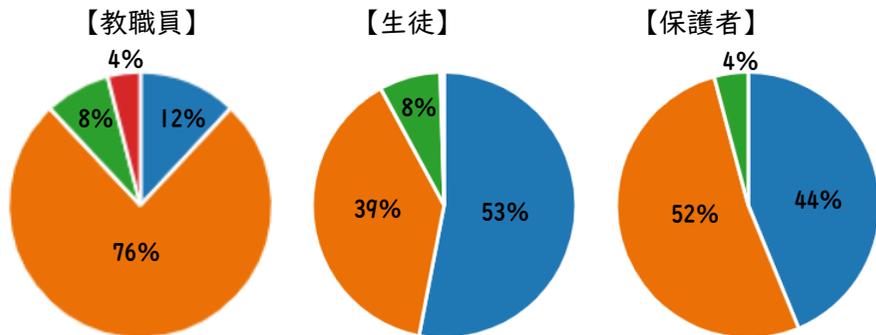
(考察)

教職員・生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が75%以上を占めるが、保護者の23%は体力向上が図られていないと感じている。

(学校運営協議会委員のコメント)

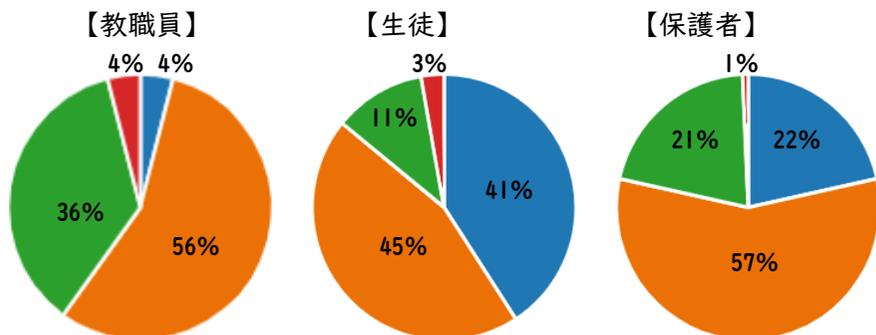
- ・体力向上は、自分に合った体力向上をしていると思われる。
- ・生徒の46%が「そう思う」で嬉しく思う。

2. 生徒は、新型コロナウイルス等の感染症に対する知識や予防意識をもっている。



(考察)
 生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が90%以上を越えており、全体的に見ても、新型コロナウイルス感染症に対する知識や予防意識を持っている。
 (学校運営協議会委員のコメント)
 ・新型コロナウイルス感染症に対しては、予防意識を持って取り組んでいる。

3. 生徒は、災害や防災に関心をもっている。

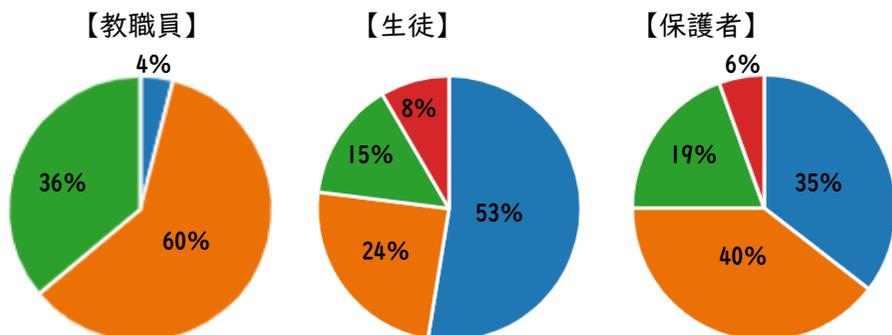


(考察)
 生徒・保護者は肯定的な回答80%近くだが、教職員は、44%が生徒の防災への関心が高まっていないと感じている。
 (学校運営協議会委員のコメント)
 ・最近は、自然災害を含め多種の災害を耳にする。先生方も関心を持って防災に対応されていると思う。

重点目標(4)「貢献」に関すること

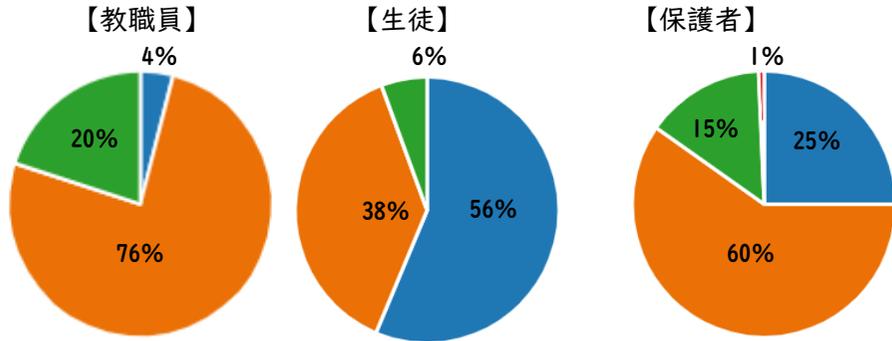
● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、将来の夢や就きたい職業(仕事)がある。※仕事は複数でも可



(考察)
 生徒・保護者は、肯定的な回答が75%を越えているが、教職員は40%が将来の夢や職業については否定的な回答である。その理由としては、面接等で将来の進路がはっきり答えられない生徒が多いことが考えられる。
 (学校運営協議会委員のコメント)
 ・生徒・保護者の方と教職員との差が気になる。

2. 生徒は、クラスや学校のために、自分ができていることを考えて行動できる。



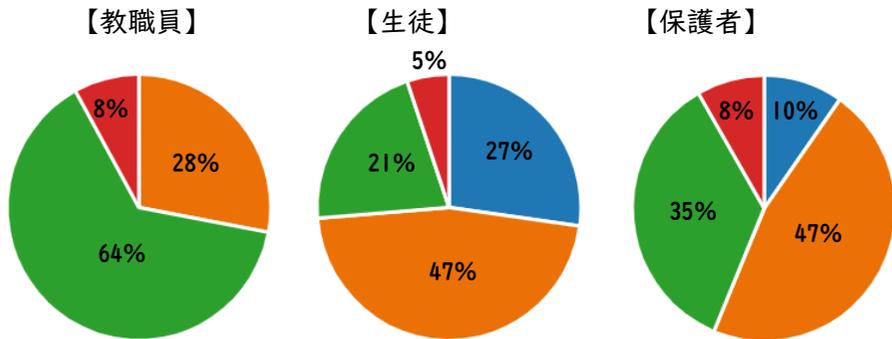
(考察)

教職員・生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が80%以上を占めるが、教職員は、日常の生徒の行動から判断し、20%は「そう思わない」と回答している。また、令和3年度との比較では、生徒の64%が、肯定的な回答であったが、今年度は特に生徒の評価が大幅に増加している。

(学校運営協議会委員のコメント)

・学校(クラス)のために、生徒自身が考えて行動していると思っているだけでも素晴らしい。

3. 生徒は、現在及び将来「都農」のために役立つことをしたいと思う。



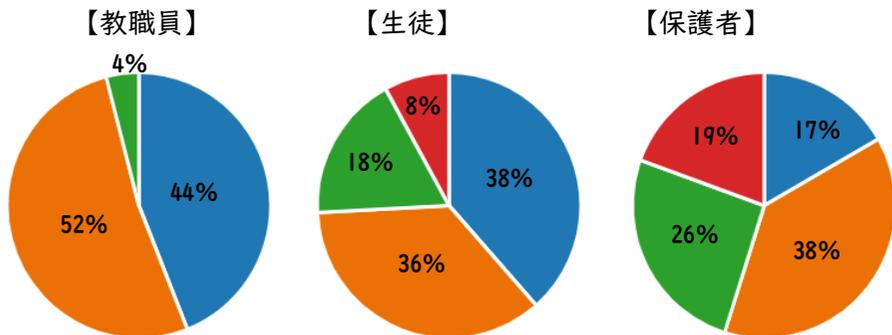
(考察)

生徒は、肯定的な回答が74%だが、保護者は57%、教職員は28%が肯定的な回答をしている。また令和3年度との比較では、同じ結果である。

(学校運営協議会委員のコメント)

・先生方の回答のとおり、生徒たちの認識はそこまでっていないと思う。いろいろな経験を積んで「都農」に役立つ生徒となるように期待したい。

4. 都農中の合言葉「貢献」を知っている。



(考察)

・教職員は96%、生徒は74%であるが、保護者は55%の認知度である。

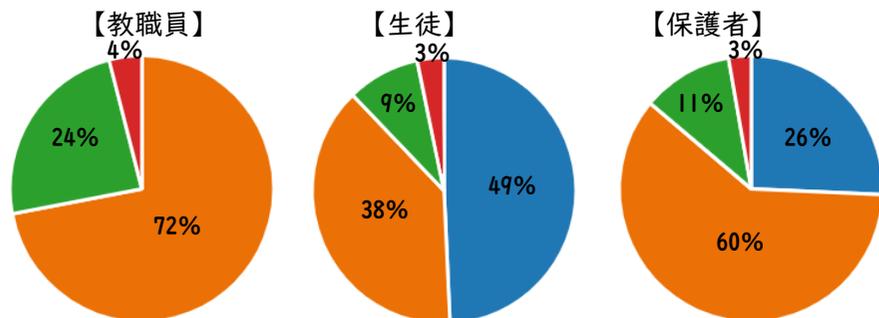
(学校運営協議会委員のコメント)

・生徒は、貢献の意味は知っているけど何をとまでは考えていないのでは。また、保護者の方が特にその様な気がします。

重点目標(5)「健康・安全」に関すること

● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、バランスの良い食事を摂っている。



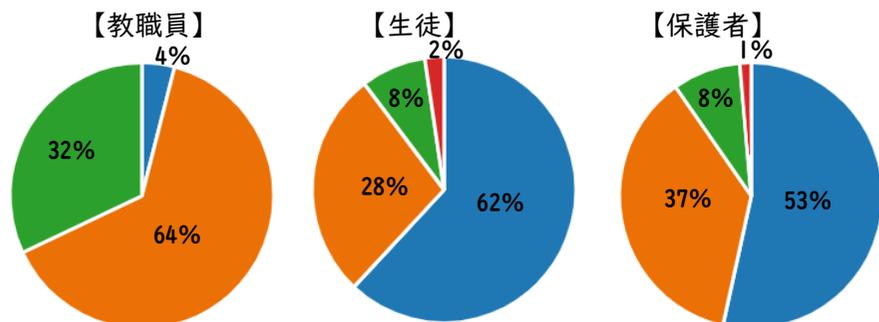
(考察)

教職員・生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が70%以上を占めており、おおむね良好な食事バランスと思われる。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・先生方と生徒、保護者の考え方が異なっていると思われる。
- ・生徒の49%が「そう思う」で意外である。

2. 生徒は、むし歯や眼などの治療がしっかりできている。



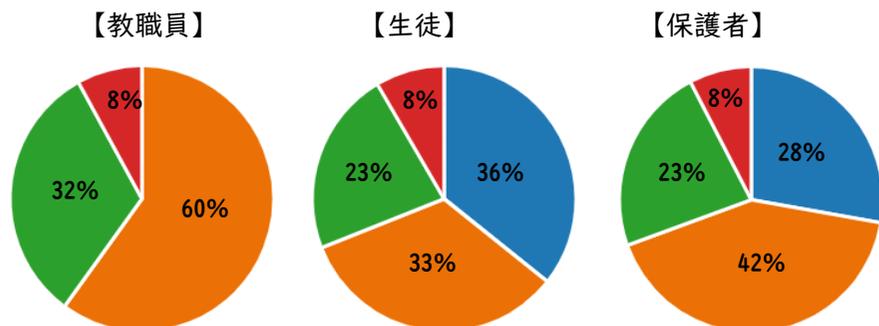
(考察)

生徒・保護者いずれも、「そう思う」が50%以上を占めるが、教職員は4%である。「どちらかというと思う」という結果から、教職員は治療の実態が約50%であることを踏まえ、回答していることがわかる。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・大事なことだけど、先生方の心配（むし歯治療率50%）が、生徒や保護者の方に通じていないのではないか。

3. 生徒は、早寝早起きの習慣ができている。



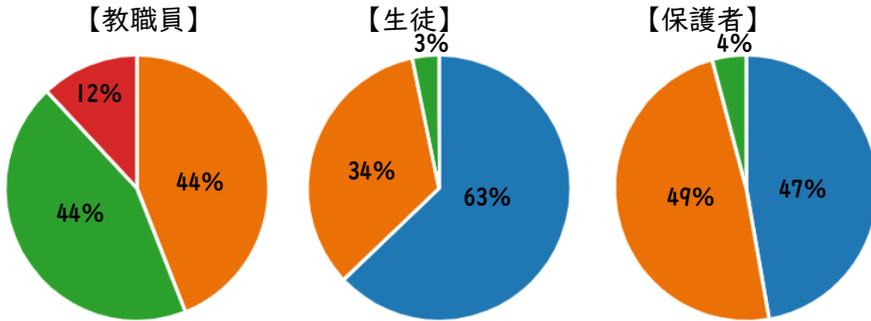
(考察)

生徒・保護者いずれも、「そう思う」が30%近く、「どちらかというと思う」が32%以上だが、教職員には家庭の様子が把握できないので、朝の登校状況の様子で判断しているようである。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・先生方と保護者・生徒の回答が異なっているのは、一部の生徒に遅刻者がいるからではないか。

4. 生徒は、交通ルールを守り、交通安全に心がけている。



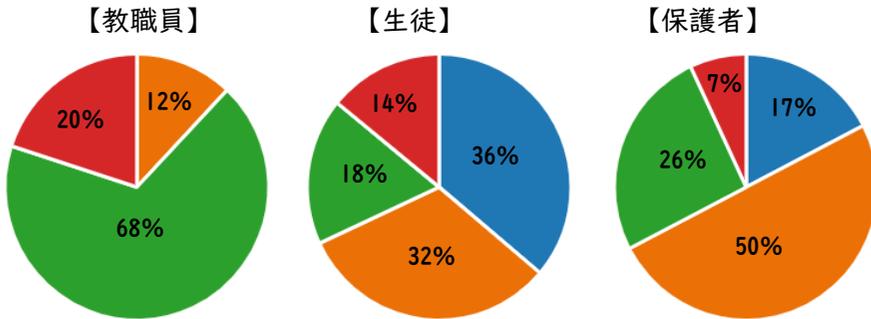
(考察)

生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が95%だが、教職員は44%である。地域からの苦情や登下校の様子を見ると、教職員は地域内で交通マナーはよくないと感じている。

(学校運営協議会委員のコメント)

・先生方と生徒、保護者との考えが違うのは登下校のマナーにある様に思われる。

5. 生徒は、スマートフォンなどの使用について親子でルールを決めて使っている。



(考察)

生徒は68%が、保護者は67%が親子でルールを決めて使用していると回答しているが、教職員は88%が生徒の様子から、ネット依存や昼夜逆転現象、SNSのトラブルや事件を心配している。

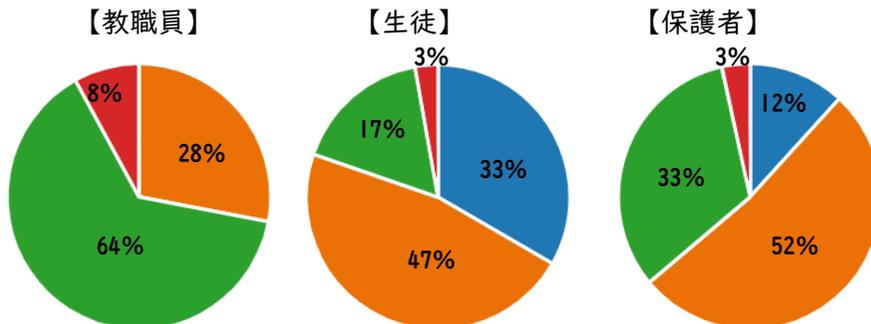
(学校運営協議会委員のコメント)

・今後も重要な課題です。
・依存性が高い点、家庭での指導をがんばってほしいと思います。

「当事者意識」に関すること

● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、自分を責任ある社会の一員だと思っている。



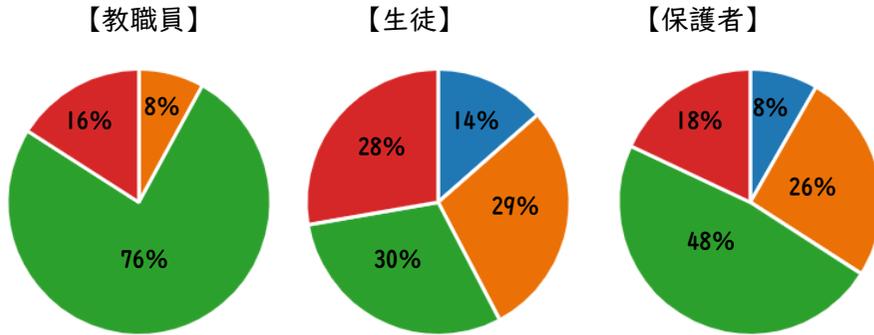
(考察)

生徒は80%が、保護者は64%が肯定的な回答をしているが、教職員の72%が否定的である。また、日本財団が2019年に実施した「18歳意識調査」と比較すると肯定的な回答が45%に対し、本校はさらに高いことが分かり、責任ある社会の一員だと思っていることがわかる。

(学校運営協議会委員のコメント)

・生徒の33%が「そう思う」で嬉しく思います。

2. 生徒は、自分で国や社会を変えられると思っている。



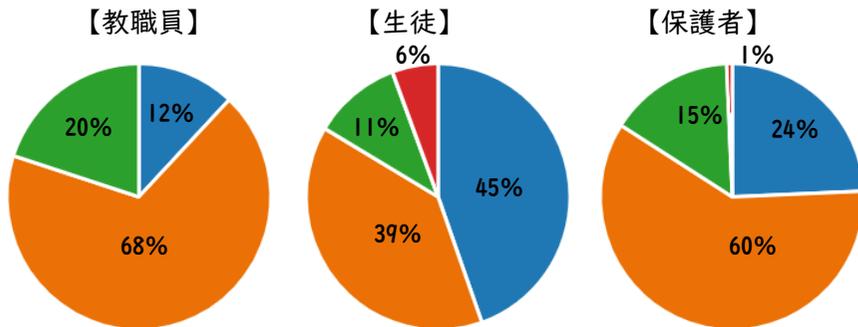
(考察)

教職員は92%が否定的な回答であるが、将来の国や社会を担う人材育成が積極的に行われているとは言えない状況である。保護者の見解も68%が否定的な回答で、生徒たちをとりまく環境に要因があると思われる。また、保護者は68%、教職員は92%がそう考えており、大人の方が否定的な回答をしている。日本財団が2019年に実施した「18歳意識調査」と比較すると肯定的な回答が18%に対し、本校生徒は44%と非常に高いことが分かり、国や社会を変えられると思っていることがわかる。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・生徒・保護者・教職員の記述にずれがある。

3. 生徒は、自分には長所があると思っている。



(考察)

教職員・生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が80%以上を占めており、生徒のよい所を見つけて伸ばしていくことが大事であり、効果的な方法であると考えている。だが、否定的な回答も15~20%あり、一見するとよいと思われるが、「自信がない」など自己肯定感が低い評価も気になる。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・得意・不得意はわかっている、その長所を伸ばすには、自分で気付く時もあるれば、先生方の指導で気づき伸ばす事もあるでしょう。
- ・自己肯定感の低い子にもっと自信をもって、明るい学校生活を送ってほしいと思います。

【令和5年度に向けた取組】

重点目標（1）「自律」に関する改善点

- （2. に対して）夢や目標に対して努力する生徒の育成への取組の推進
- （3. に対して）計画的に学習やテストに取り組む生徒の育成が課題である。また、一人一人の努力の成果として表れるような取組の推進
- （4. に対して）今後は、保護者への周知を進め、三者が同じ目標を共有できるよう取組

重点目標（2）「尊重」に関する改善点

- （1. に対して）人権の基盤となる、相手の気持ちを考える生徒の育成への取組
- （2. に対して）校内でトラブルやいじめ等の対応としてもより、多様性を受け入れる生徒の育成への取組
- （3. 対して）「いじめ」に対する認識を、「してはいけないこと」だと考えていない生徒（5%）への指導
- （4. 対して）「自律」と同様、保護者への周知を進め、三者で同じ目標を共有

重点目標（3）「体力」・「健康管理」・「防災」に関する改善点

- （1. に対して）保護者の23%が体力向上に努めていないと感じている。休日の過ごし方等についての啓発。
- （2. に対して）新型コロナウイルス感染症に対する知識を継続しながら、今後はマスクを外す指導の推進。
- （3. に対して）防災への関心が高まるような避難訓練や地域と一緒に行う防災訓練

重点目標（4）「貢献」に関する改善点

- （1. に対して）生徒の夢や職業を、学校・保護者・生徒三者で共有する場や夢を考える取組の推進
- （2. に対して）主体的に行動できる生徒を育成するために、今後も生徒主体の教育活動の推進
- （3. に対して）都農のために役立つような貢献できる取組（夏祭り等の行事も含めて）
- （4. に対して）「貢献」の認識を高めて、みんなの社会のために行動するような取組の推進

重点目標（5）「健康」「安全」に関する改善点

- （1. に対して）食育教育の充実などを通して、生徒・保護者への意識を高める取組の推進
- （2. に対して）治療率の向上のために、保護者への啓発をさらに行ってほしい。また、生徒が自主的に通院できるようなサポート
- （3. に対して）生活習慣を確立させるための学校での指導と個別に対応した方がよい生徒への保護者との連携の推進
- （4. に対して）地域内での生活指導は、学校での指導に加えて今後関係機関とも連携する。
- （5. に対して）SNS等のトラブルについては、家庭でのルール作りが重要。学校ではデジタルシチズンジップ等の教育の取組の推進

重点目標6「当事者意識」に関する改善点

- （1. に対して）社会とつながったり貢献したりする教育活動の推進
- （2. に対して）自分たちの将来や未来の当事者である生徒が幸せになれるような、社会の一員となれるような教育の推進
- （3. に対して）生徒の自己肯定感を高められるような指導の推進